

プレスリリース

サウスイースタン・アセット・マネジメント オリンパスに対し特定の人物の辞任および臨時株主総会の 開催を求める

2011年11月8日(東京、ロンドン)――

2004年よりオリンパス株を保有し、現在同社の発行済株式数の約5%を保有するサウスイースタン・アセット・マネジメント(本社テネシー州メンフィス)は、本日以下の声明を発表し、オリンパスに対し特定の人物の辞任、および臨時株主総会の開催を求めました。

オリンパスの経営陣が行なってきた疑惑の背後にある真実が明らかになりつつあります。また、第三者委員会によって現在行われている調査に関しては認識しておりますが、全ての疑惑がただちに明らかにされる事を私どもは強く求めています。

従って、菊川剛取締役、森久志取締役、山田秀雄常勤監査役、南部昭浩広報・IR室長兼ジャイラス取締役の四名がただちに辞任し、今後オリンパスと一切の関わりを持たないことが非常に重要であると考えます。

加えて、私たちは、残りの取締役および常勤監査役がいち早く交代できるよう、取締役会に対して臨時株主総会を招集するよう要求いたします。

現経営陣に関する問題が調査される間、オリンパスの素晴らしい事業が効果的に運営されるための新しい、信頼のおける取締役会が直ちに選任されることが極めて重要です。

本件に関するお問合せ先：
アシュトン・コンサルティング・リミテッド
塩加井 匡
岩屋 雄三
電話： 03 (5425) 7220

